

筑前

CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

年4回発行
5月・8月・11月・2月

●編集発行
筑前町議会広報特別委員会
電話 0946-42-6622

「令和」にゆかりの

大伴旅人の万葉歌碑

為君釀之待酒安野
獨我將飲友無二思

「令和」の由来である梅の花 32 首を詠んだ大伴旅人は、古代大宰府の長官で、筑前町とも縁がありました。この地で詠んだ「安の野」の歌は万葉集に収められ、筑前町公民館支館敷地内（篠隈）に石碑が建てられています。「君がため 醸みし待ち酒 安の野に ひとりや飲まむ 友なしにして」（『万葉集』巻第四 五五五番）

- ▶ 新体制がスタート 議員あいさつ…………… P2
- ▶ **特集** 子ども議会が開催…………… P3～5
- ▶ 予算審査特別委員会…………… P6～9
- ▶ ここが聞きたい（一般質問）…………… P12

第53号

2019.5

～新体制がスタートしました～

就任のごあいさつ

町民の皆様には、日頃から筑前町議会の活動に対しまして、ご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成31年2月1日第1回臨時議会において議員各位のご推挙により、議長並びに副議長に就任いたしました。

ここに改めて、その職の責務の重大さを認識し、町政の発展と円滑な議会運営に全力を尽くす所存でございます。

今後、町議会では、町民の皆様が安心安全に暮らせるまちづくりを実現していくために、執行部と議会は対等な立場として、「言うべきところは言う」「チェックすべきところはチェックする」を念頭に、議員全員が協力し、議決機関としての役割と機能を十分に発揮し、二元代表制の一翼を担う議会として、皆様のご期待に沿うように努力してまいります。

結びに、町民の皆様方の益々のご健勝を心からお祈りいたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。



副議長
横山 善美

議長
田中 政浩

(凡例：◎委員長、○副委員長、◇オブザーバー)

議会運営委員会

- ◎横山 善美
- 木村 博文
- 深野 良二
- 田口 讓司
- 山本 久矢
- ◇田中 政浩



さらに前進 筑前町議会

議会運営の会議規則・委員会条例や議長からの諮問事項などを調査研究するとともに議員相互のレベルアップを図り、町民の皆さまから信頼される議会をめざします。

能動的に働く委員会

主に財政関係から、インフラ整備・農林商工等を所管する委員会です。皆様の税金が無駄遣いされていないかをしっかりとチェックして、課題を抽出し、政策提言ができる委員会を目指します。

総務建設常任委員会



- ◎木村 博文
- 奥村 忠義
- 持山 英幸
- 木村 和彦
- 田口 讓司
- 山本 一洋
- 田中 政浩

- ◎深野 良二
- 寺原 裕明
- 柳 雅明
- 石橋 里美
- 山本 久矢
- 河内 直子
- 横山 善美

文教厚生常任委員会



「見て」・「聞いて」・「提言」

教育・福祉・健康・人権等を所管する委員会です。住民の生活に直結する問題や課題を多く抱えていますが、「見て」「聞いて」そのことを町政に「提言」していくために委員一同、頑張っております。

議会広報特別委員会

「伝わる広報」から「見える広報」へ

年に4回、定例会の報告を中心に住民に分かりやすく、「見える」議会情報をお届けします。

- ◎山本 久矢
- 河内 直子
- 寺原 裕明
- 柳 雅明
- 石橋 里美
- 木村 和彦

議会活性化検討特別委員会

住民へ開かれた議会へ

住民の皆様との意見交換会などを通して、町政に反映できるよう、議会活性化を目指します。

- ◎田口 讓司
- 奥村 忠義
- 深野 良二
- 木村 博文
- 持山 英幸
- 田中 政浩



筑前町子ども議会

平成31年2月16日(土) 14時開会

筑前町で初めての子ども議会が開催されました。各中学校から3名、各小学校から2名の全14名が子ども議員として選出され、議会から田中議長・横山副議長、町当局は町長・副町長・教育長以下全課長が出席し、議場を使って本番さながらの一般質問を行いました。



議長 税田 夏碧(夜須中)

筑前町で初めての子ども議会

議場では、通常通りに執行部が席に座り、一般質問を行う子ども議員が議員席側に座りました。中学生2名が議長と副議長となり、前半と後半に分かれて議長席で議事の進行を行いました。みんなとても緊張したと思いますが、大きな声で堂々とした発言をしていました。

子ども議会の目的

子ども議会開催は、これまで各議員が一般質問で、若者の参画意識を育て、子どもの意見を町政に活かすためにと提言してきたことが実現したものです。子どもたちが町の問題を自ら考え、議会の模擬体験を行うことで、行政や議会の仕組みを学び、町政・議会活動への関心を高めることを目的として行われました。

筑前町の未来のために

選挙権の年齢が20歳から18歳に引き下がり、町や世の中で起こっている様々な出来事や身近な地域の問題、将来のことを自分で考えることが大切になってきています。

未来を担う子どもたちにとって、この体験が自分の住んでいる町の良さを再発見し、町の政治に関心を深める良い機会につながったのではないかと思います。子ども議員のみなさん、お疲れ様でした。



副議長 北嶋 大誓(三輪中)

子ども議員12人の質問と意見

まとめ

筑前町の安全・安心と、本町の発展に対する思いの質問を聞いて、目線を変えるとたくさんの懸案が出てくることを改めて考えさせられました。

実現には予算などの様々な問題がありますが、町長・教育長から丁寧な説明があり、また反問権で子ども達に意見を聞いて、充実した会議内容となりました。懸案事項は担当課と協議をして、ぜひ改善をお願いしたいと思います。

今回の開催が子どもたち、また全ての町民の方々にとって、行政や議会を身近に感じてもらえれば大変うれしく思います。

子ども議員の方々、関係者の方々、準備から大変だったと思います。本当にありがとうございました。

町議会副議長 横山

※反問権：質問者へ問い返すことができる権利のこと。

議席12番 安心院 璃音 議員 (夜須中)

Q①ショッピングモールの誘致を。町内に暮らしているものを揃える店が少ない。筑前町っていいよねと思ってもらえるものを作ってほしい。若い世代の子育ての助けになれる。
②夜須中の校舎で古くなっている所を新しくしてほしい。



7



議席7番 倉掛 温 議員 (三並小)

Q三並小学校区にも運動できる遊具がある公園を設置してほしいです。安の里公園は校区外だから親に送ってもらわなければいけません。
陸上競技場や屋内プールなど本格的な運動施設の設置を希望します。

議席8番 柴田 小羽 議員 (三並小)

Q①西日本豪雨で親水公園に被害が出ています。みんなが安全に使えるように早く直してほしいです。
②通学路で危険を感じています。カーブミラーや信号機、街灯など安全に登下校できるように早めに設置してほしいです。

5



議席5番 吹出 幸生 議員 (中牟田小)

Q①「ちくちゃんバス」に乗っている人が少ない。商業施設や電車の駅などに寄ると利用者が増えると思います。
②中牟田小学校が冠水して大変でした。町を挙げての避難訓練を行うとか、地域で対策をとるなどありますか。

8



議席3番 伊藤 瑛太 議員 (東小田小)

Q「ちくちゃんバス」の利用を増やすために、もっとPRしてほしいです。また、バスの利用が難しいお年寄りや体の不自由な方への対応について、どのように考えていますか。



議席11番 中村 竜大 議員 (夜須中)

Q①各小学校区内に子ども達だけで気軽に遊べる場所を増やしてほしい。
②トレーニングセンターなどのスポーツ施設を個人でも利用できる環境に。
③子どもからご老人まで気軽に入れる町の温泉を。



テーマ「だれもが安心して住みよくなるまちづくり」



4

議席4番 原田 宙 議員
(東小田小)

Q ①冷暖房設備の体育館があるとイベントやスポーツ大会ができ、町が元気になると思います。
②町の歴史資料館があると、町のよさをもっとアピールすることもできるのではないかと思います。

議席1番 永松 史寿葉 議員
(三輪小)

Q ①町にショッピングモールを建てることはできませんか。
②中学女子の制服でスカートかズボンを選ぶことはできませんか。
③町内中学進学を自由に選べる学校選択制を取り入れることはできませんか。



10

議席10番 米倉 彩加 議員
(三輪中)

Q ①冬の朝方はカーブミラーが曇り、見通しが悪くなるので、曇らないものにしてはどうか。
②見通しが悪くカーブミラーが必要な所がないか、町民・町で働いている人にアンケートを取り、設置を増やしては。



9

議席9番 染森 健真 議員
(三輪中)

Q ①コンピュータ室の稼働率を上げることで、必要な知識をすぐに得ることができるようPCの速度を速くする。
②コンピュータを使って英会話やリスニング力を高められるようにする。

議席2番 真子 空 議員
(三輪小)

Q 車道と歩道のさらなる整備、障がいのある方のための音が出る信号機、公共の場でのスロープを増やすことができれば、誰もが住みやすい町への第一歩となると思います。



6

議席6番 平山 稜太 議員
(中牟田小)

Q 筑前町が誰にとっても優しい町になってほしいと思っています。歩道の狭いところに自転車が通ったり、電柱があったり、段差があったりと危険です。公共インフラの安全面のチェックと整備をお願いします。



2

○ 町の方針やこれまでの経緯なども聞くことができました。子ども議会ではありましたが、大人の私も大いに学ぶことができ、有意義に過ごせました。

○ 筑前町の子どもたちがいろいろな問題意識を持っていることに驚きと関心を覚えました。予算の問題などで問題解決には時間がかかりそうですが、一つでも解決し、子どもたちが安心して暮らせる筑前町になってほしいと思います。このような貴重な機会を与えていただき、親子共々感謝いたします。ありがとうございました。とても楽しく傍聴させていただきました。

傍聴者の感想

○ カーブミラーの件、制服の件、実現すると良いと思う。皆がしっかりと意見を言い、素晴らしいと思った。実際の町議会にもこれから傍聴したいと思った。

平成31年度 一般会計予算 TOPICS

これからはじまる取り組みや注目事業など、予算の一部を集めました。

ため池ハザードマップの作成 7,600万円

ため池68ヶ所の災害予想範囲
地図を作成(2年間の継続事業)

※関連記事P13



災害復旧工事 3億6,472万円

豪雨災害の
復旧工事

※関連記事
P14



道路新設改良事業 1億3,436万円

やすらぎ荘入口
交差点改良工事
など

※関連記事
P15



草刈機導入費補助事業 1,000万円

区の草刈機導入に対し
本体価格の1/2を補助
(20万円以上の機械)

※関連記事P16



バス運行委託事業 2,197万円

南部路線バス運行委託料
(学童・地域住民の交通手段の確保)



パークゴルフ場の設置 2,900万円

公園(町有地)
の活用・整備

※財源
そつたく基金



平和推進事業 304万円

大刀洗飛行場
100周年記念
講演会
式典
イベント企画



ふるさと応援寄附金推進事務 8,739万円

寄附金増額による返礼品経費
(返礼品は寄付金額の3割です)



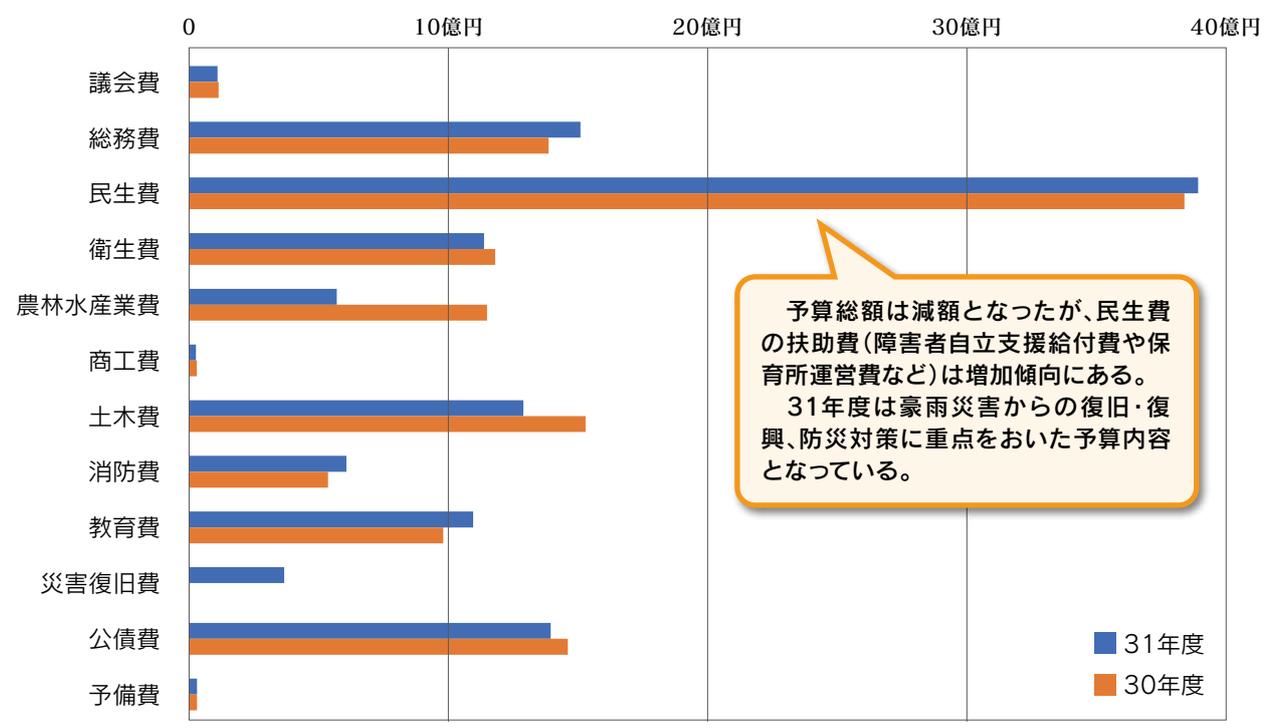
平成31年度 予算を問う

平成31年度一般会計および特別会計の予算審査特別委員会を横山善美委員長のもと、2日間の日程で行った。



一般会計当初予算総額 119億4,683万円 (前年度比▲1.7%)
前年度当初予算 121億5,520万円 (▲2億837万円)

平成31・30年度当初予算比較表



《前年度比・増減額トップ3》

- 増額**
 - 1位 災害復旧費 3億6,201万円 (13353.6%)
 - 2位 総務費 1億2,185万円 (8.8%)
 - 3位 教育費 1億1,503万円 (11.8%)
- 減額**
 - 1位 農林水産業費 ▲5億7,508万円 (▲50.4%)
 - 2位 土木費 ▲2億3,835万円 (▲15.7%)
 - 3位 公債費 ▲ 6,535万円 (▲ 4.5%)

- 増額の主な要因**
 - ・ 豪雨災害の復旧事業費
 - ・ 老朽化・省エネ対策による本庁舎維持管理
 - ・ 各学校施設改修工事など
- 減額の主な要因**
 - ・ 大型事業の完了によるもの (両筑平野用水二期事業費負担金一括償還、町営住宅建替・改修事業費、観光農園施設整備事業費など)

ゆくえは？

予算の使いみち

116項目にわたった。



防災・減災対策

問 防災無線の未設置の世帯数と設置しない理由は。

答 31年2月末で設置率76%。家庭の事情によるものが多いが、防災無線の必要性を説明して設置に努めていく。
(環境防災課長)

問 河川の寄り州対策の財源を予算化できないか。

答 県より、本年度と来年度にかけて倍額に近い予算をいただき対応していく。
(建設課長)

問 31年度予算に中島池用水吐(あらて)の予算は。

答 補正予算で対応する。
(農林商工課長)

保育の環境

問 31年度待機児童対策は。

答 定員増の民間保育所や企業主導型保育施設との連携や保育士の確保で対応を考える。
(こども課長)

問 障がいのある子どもたちへ別室の保育ルームを建設する予定はあるのか。

答 別室を建てる計画はない。
(こども課長)

問 美和みどり保育所入所児の保護者への対応メールシステムは、単方向か双方向対応か。

答 保育所からの単方向発信のみのメール設定となっている。
(こども課長)

財政

問 保育の無償化について。

答 31年度に限り、すべて国が措置する。32年度からは負担割合の4分の1が一般財源支出となる。
(財政課長)

問 一時借入金が近年15億に膨らんでいるが。

答 基金から運用している資金は3月末で一旦基金に返す必要があるため、資金的に不足した場合、不足を金融機関から一時的に借り入れをしているため。
(財政課長)

補助金

問 物産展地域活性化事業補助金について、商工会との連携は。

答 町も補助金を出しているが、イベントの連携までは考えていない。
(企画課長)

答 町がイベントと関わって地域が元気になることは重要だが、自らの力も大いに活用していただけたらと思う。
(町長)

交通安全事業

問 同和事業促進費補助金がひとつの任意団体に対して行われているが。

答 朝倉地域全体の方針で進んでいるが、今後のあり方を協議していきたい。
(町長)

問 高齢者運転免許証自主返納支援事業予算が25%減額されているが。

答 実績に基づいて見込みの数字を計上している。
(環境防災課長)

問 チャイルドシート貸出事業を町として継続できないか。

答 31年度から朝倉交通安全協会がこの事業を引き継いでいく。
(環境防災課長)



予算の

平成31年度

予算に対する議員の質問は、その一部を掲載。

平和記念館

問 平和記念館の入館料増の見込みは。

答 対前年度比で、402万5千円増を見込んでいます。(財政課長)

問 平和記念館の映像制作料が例年計上されていたが、今回はないのか。今ある映像で字幕等があれば高齢者、聴覚障がい者等にわかりやすいが。

答 今後の検討課題として研究していきたい。(企画課長)



生活改善事業

問 生活改善事業の実績と効果はどうか。

答 冠婚葬祭用の封筒の売り上げ枚数は年々減っており、利用者が少なくなっている現状がある。各団体への啓発活動を進めていきたい。(生涯学習課長)

農林業

問 街路灯のLED化で農作物への影響は。

答 農作物への影響はないというところで事業に取り組んでいる。(副町長)

問 林業振興費に荒廃竹林が予算化されていない。決算資料の将来の課題には、平成31年度末をもって終了するところがあるが。

答 地元で取組みをしているので、町としての予算計上はしない。予算執行を伴わない事業としている。(農林商工課長)

問 農業委員会の男女比率は。定数19名で男性17名、女性2名。

(農林商工課長)

教育環境

問 小学校2年生の「35人学級」措置は、町独自で予算組みされているが、今後はどうか。

答 きめ細かな教育の振興のために、今後とも続けていきたい。(教育課長)

問 児童・生徒の通学路の歩道整備を進めていくべきでは。

答 歩道整備は喫緊の課題である。地域住民と協力しながら取り組んでいきたい。(町長)

問 A L T派遣の内容は。

答 英語教育の充実を図るために、30年度から各学校およそ1名のA L Tを常駐させている。(教育課長)

問 町が保有している文化財は何点くらいあるか。調査・整理するための期間は。

答 現在の出土品は、収蔵箱換算で1万5千500箱以上。15年ほどかかる見込み。(教育課長)

そつたく基金事業

問 そつたく基金の残金は。

答 この基金は、以前に平野養鶏場元会長から町に政策予算として2億円を寄付されたもので、ソフト事業関係にかなり使い、現在4千261万7千円の残金となっている。(副町長)

問 パークゴルフ場の増設に伴って、駐車場が必要では。

答 これまでの利用状況の延長線上でと考えているが、今後検討する必要がある。(町長)

水道加入率

問 水道加入率を上げるために何らかの助成金等はないか。

答 30年度で水道創設事業は完了したものの、一部未整備地区については、補助金に見合うような事前加入制度を併用して整備を進めていきたい。(上下水道課長)



3月定例会

3月4日から15日の12日間の日程で開催された。3月定例会は、諮問1件・同意4件、承認1件・議案24件が提案され、審議の結果、原案のとおり可決した。

議案の主なもの

◆人権擁護委員の推薦

田中 富久美 さん（新任）

◆筑前町固定資産評価審査委員の選任

三浦 航^{わな} さん（新任）

◆筑前町教育委員会委員の任命

尾崎 純子 さん（新任）

◆甘木・朝倉広域市町村圏事務組合等公平委員会委員の選任

武井 欽二 さん（再任）

井上 恒夫 さん（新任）

◆指定管理者の指定

「筑前町ファーマーズマーケットみなみの里」の指定管理者の更新（5年）

（株）筑前町ファーマーズマーケット

代表取締役 田頭 喜久巳

◆工事請負契約の締結

小川原地区頭首工災害復旧工事（曾根田川）

5,616万円で締結

30年度一般会計 3月補正予算

4億700万円を減額
総額131億6,968万円

●主な歳入（事業の減による減額）

国庫支出金	▲9,920万円
県支出金	▲1億5,203万円
繰入金	▲1億9,057万円
財産収入（町有地売払収入など）	1億444万円

●主な歳出

強い農業づくり交付金事業（カントリーエレベーター入札減による）	▲1億722万円
町営住宅建替・改修事業	▲4,614万円
公共施設等整備基金（町有地売払収入の積立て）	1億317万円
両筑平野用水事業事務	1,793万円

問 町道の路線認定にあたり、中牟田信号機の部分はものすごく狭く、車が集中して子どもの通学が危ぶまれる状況だ。担当課との協議は。

答 都市計画の方と協議しながら、今後改善できるものは改善していきたいが、今の段階では考えていない。地元の方から拡幅要望を出してもらう手だてしかない。子ども達の通学路の確保ということとで教育委員会と十分に事故がないよう、周知協議をしたい。（建設課長）

第2回臨時会

3月22日に開催され、下記の議案1件について原案のとおり可決した。

◆工事請負契約の締結

茶屋原地区ため池災害復旧工事（中島池）

1億152万円

平成31年3月定例会

全会一致で可決・承認した議案

人事	人権擁護委員の推薦	補正予算	平成30年度筑前町一般会計補正予算(第9号)
	固定資産評価審査委員会委員の選任		平成30年度筑前町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)
	教育委員会委員の任命		平成30年度筑前町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	甘木・朝倉広域市町村圏事務組合等公平委員会委員の選任		平成30年度筑前町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第1号)
	甘木・朝倉広域市町村圏事務組合等公平委員会委員の選任		平成30年度筑前町水道事業会計補正予算(第2号)
専決	専決処分を報告し、承認を求めること(平成30年度筑前町一般会計補正予算(第8号))	当初予算	平成31年度筑前町下水道事業会計予算
条例	筑前町附属機関に関する条例及び筑前町特別職の職員等で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定		平成31年度筑前町水道事業会計予算
	筑前町住宅新築資金等貸付事業特別会計財政調整基金条例を廃止する条例の制定		平成31年度筑前町工業用地造成事業特別会計予算
	筑前町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定	その他	町道の路線認定
	筑前町道路路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定		町道の路線変更
	筑前町水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定		指定管理者の指定
	筑前町議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定		工事請負契約の締結 (農災第6号小川原地区頭首工災害復旧工事)
筑前町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の増減及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更		

賛成多数で可決した議案

区分	議員名	寺原	柳	持山	石橋	奥村	木村	田口	山本	奥村	山本	木村	河内	横山	
		裕明	雅明	英幸	里美	忠義	和彦	讓司	一洋	忠義	久矢	博文	直子	善美	
当初予算	平成31年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
	(反対討論)河内:災害復興に向けた予算であり大いに評価できるが、任意団体の一つに過ぎない部落解放同盟への600万円をも超える補助金は、筑紫野市を上回るもので、財政規模からも納得できない。また、住民の理解を得ることは困難と考える。														
	(賛成討論)深野:反対されている予算は、残されている現状課題を解決するために必要。部落差別解消推進法に基づき、行政も積極的に差別の解消に取り組んでいかなければならないので必要な予算と判断する。														
	平成31年度 国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
(反対討論)河内:2018年度から公費負担が増えたが現状は変わらず値上げが続いている。町には財政調整基金が約19億円もあり、国が更なる公費投入を実現するまでは基金を保険税引き下げに使うべき。抜本的保険税引き下げにより住民の命と暮らしを守り、最大の収納対策にもなる。															
(賛成討論)寺原:医療費の増加が見込まれる中、一般会計の法定外繰入がなく、また県が激変緩和に努められ、一人あたりの納付金額は昨年とほぼ変わらない額に抑えられた内容となっており、適切な予算と判断する。															
平成31年度 後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
(反対討論)河内:保険料の軽減特例措置である9割軽減・8.5割軽減を10月から7割軽減とする内容であり、低所得者層にとっては大変な負担増になる。75歳という年齢で医療を差別する制度に反対であり、元の老人医療保険制度に戻すべき。															
(賛成討論)木村:今回の予算は、予算額の上昇は見られるものの、高齢化率の上昇や社会背景に照らし合わせると、高齢者が県内一律のサービスを受けられるものとして、県の広域連合が運営している。本予算は広域連合との連携をもとに、筑前町が徴収した保険料を広域連合に納付する内容で適正だ。															
平成31年度 住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	
(反対討論)河内:未だ1億円以上の未償還があるのに、あまりに少ない元利収入となっている。弁護士費用も計上しているが、毎年400万程度の償還ではこれから30年以上もかかってしまい、後世の担当職員の負担を軽くするためにも早期償還に向け努力すべき。															
(賛成討論)奥村:町債も完了したことにより債権回収が中心になる。全負債者の時効の管理、納付事業、債務者の状況に応じた弁護士相談の活用などの事務を行う必要がある。															

議長 田中 政浩は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席。



ここが聞きたい!

3月定例会

一般質問

町政を問う

3月議会では、6人の議員から9件の一般質問が行われ、町政全般について活発な議論が展開されました。

なお、全文記録（会議録）については、筑前町ホームページに掲載しますので、ご覧ください。（<http://www.town.chikuzen.fukuoka.jp/>）

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。

筑前町議会

検索



深野良二 議員

「人権3法」の 条例制定を

深野 「人権3法」を踏まえ、法律を具体化する施策は。

人権・同和対策室長

「人権尊重のまちづくりの推進」を目標に掲げ、人権施策実施計画書を策定し、具体的施策の推進に取り組んでいる。

深野 法律の具体化に向け条例制定をどのように考えているか。

町長 法制定の意義を十分認識し、朝倉地域において具体的に協議検討を進めていく。

深野 独自性の持った条例を制定していただきたいが。

町長 町の積極的な姿勢を示すように検討していく。

子どもの命を守る 施策の充実を

深野 児童虐待やその傾向にある実態は。

こども課長 虐待の種別はネグレクトが多く、心理的虐待や身体的虐待もある。

深野 虐待を早期発見するために新たなアンケートを実施しては。

教育長 「いじめアンケート」を活用して、



人権尊重のまちづくり「筑前町隣保館」

「虐待」に関する設問を最後に追加するなど、早期発見につながるよう検討していく。

深野 児童虐待防止に向けて、保護者を支える援助は。

こども課長 こども未来センターで保護者の話を聴き、医療機関や福祉課・健康課などと連携し、家庭生活の立て直しへの支援をおこなっている。

「部落差別解消推進法」 の条例制定を

協議検討を進めていく



柳 雅明 議員

新たなハザードマップに ため池を

誰でも見やすい方法を検討して作成

ハザードマップの 更新が決定

柳 当町には68ヶ所のため池があるが、災害予想範囲がハザードマップに記されていない。今後の対応は。

環境防災課長

現在、国の防災重点ため池の選定基準が見直され、人的被害を与える恐れがあるため池として68ヶ所すべてが認定される見込みであり、避難行動へつなぐ対策が必要となる。

町長

ため池だけのハザードマップを今後2ヶ年かけて作成する。

柳

今までのマップは、環境防災課長 現在のハザードマップも31年度更新予定。

柳 河川等の氾濫により避難所への安全な避難経路が確保できない場合、一時避難所の選定はどのようにしたらよいか。

環境防災課長 緊急を要する場合の仮の避難所は、今まで通り地域で担っていたきたい。

柳 様々な災害に対応する避難所としては次のような問題が発生する。

避難所が災害によって壊れていくこと。特に災害弱者の対応をハザードマップ一枚に記載することは無理が生じるのではないかと。校区ごとに4枚を作成される。

環境防災課長

ハザードマップは事前に見てもらうことで価値が発揮できると考えている。現在の1枚刷りの町内全域地図か、小サイズで校区別の分割地図がいいのかの判断になる。全戸配布、HPからの確認・印刷対応を考慮しており、総合的に判断したい。

柳 ハザードマップを壁に貼付した場合、裏

面を見ることができないため、カレンダー方式でめくるようにしたらどうか。

環境防災課長

総合的にメリット・デメリットを考慮して判断したい。

柳 行政全体が総合的に対応する時代へと変化してきている。「災害のない町・筑前町」を目指すために町長の意見は。

町長 災害こそまず最優先に取り組むべき政策である。起こったことからしっかりと学び、よりよいまちづくりを努力していきたい。



地蔵谷池



寺原裕明 議員

初任者研修の あり方を問う

寺原 町内小中学校における教員初任者の人数は。

教育課長 平成28年度8名、29年度4名、30年度8名。

寺原 初任者が抱えている問題は。

教育課長 児童生徒との関係づくりや保護者対応に悩みを持って初任者が多いようだ。

寺原 初任者が研修で



初任者の授業風景 (東小田小学校)

担任クラスを外す時の対応は。

教育課長 補充教員が授業を行い、授業時数に不足が出ないようにしている。

寺原 初任者研修のために時間外労働が増えていることはないか。

教育課長 時間外労働が増えている実態はある。31年度4月から町の働き方改革指針を示し、実施していく予定。

寺原 現行の初任者研修の成果と課題は。

教育長 授業づくりについては成果が認められるが、学級づくりについては課題もある。

寺原 新制度での初任者研修が始まるということだが。

教育長 来年度からは若年教員研修となり、3年間で実施されるため、1年目の研修時間が削減される予定。

町議会議員選挙の 投票率低下を問う

寺原 町議選における投票率が低下したが課題と今後の対策は。

町長 公開討論会等があれば、投票率向上につながるかと思う。先般の「子ども議会」等、まちづくりの議論を通して、町政に関心のある人の輪を広げていくことが大事。

教員初任者研修の 成果と課題は

31年度から新制度の研修へ



石橋里美 議員

学校トイレを洋式化に

前向きに検討していきたい

洋式トイレの学校の格差是正を

石橋 学校は、子ども達の学習・生活の場であるとともに、地震等の災害発生時には地域の指定避難場所としての役割を果たす。各小中学校のトイレの現状は。

教育課長 表1の通り。

石橋 災害時に避難所を運営する立場にある者として、学校施設のトイレ状況についてどのように考えているか。

環境防災課長 施設のトイレが使えなくなつた場合等に、備蓄している仮設トイレを使用する。仮設トイレを女性専用とする等、快適に過ごせるよう努める。

石橋 災害時には、高齢者や障がいがある方

等、すべての人に配慮したトイレ環境が必要である。和式トイレが多くを占める現状の中で、今後のトイレ洋式化に対する見解は。

町長 学校間の整備率がアンバランスであることを再度認識した。町の財政事情等々、有利な補助事業等をしつかり勉強し、教育的見地、災害の見地から十分前向きに検討していきたい。

石橋 子ども達が平等な教育環境の中で生活ができるよう、また、災害が発生した場合においても、町民の皆さまが等しく避難生活を送れ、学校間の格差是正が一步でも前進するよう、スピード感を持ってトイレ環境の改善に取り組むことを要望する。

(表1) 学校施設の和・洋式トイレ状況

		校舎		体育館		屋外		洋式割合
		和式	洋式	和式	洋式	和式	洋式	
小学	三輪	0	59	10	1	0	12	88%
	東小田	24	20	4	3	0	5	50%
	中牟田	18	20	3	4	9	4	48%
中学	三並	20	8	3	3	3	0	30%
	三輪	10	31	11	0	9	2	52%
	夜須	41	13	10	2	3	0	22%
合計		113	151	41	13	24	23	51%
洋式割合		57%		24%		49%		



和式トイレが並ぶ夜須中学校

豪雨災害の復旧・復興を問う

木村 激甚災害の指定を受けているが、特段の復旧期間が設けられているのか。

建設課長 制度上被災した年を含め3年以内に完了となつてはいるが、目標として来年度3月末までには完了したい。

木村 復旧工事の優先順位等は。

建設課長 被災した場所の重要性・危険度・緊急性を考慮し、早期対応を講じる必要のある所を選考し、発注を進めて行く。

木村 農地災害の地元負担率、各負担割合は。また、誰が納めるのか。

建設課長 農地の単独事業については一律、町9割・受益者1割に改正し、負担金の納入は地権者と耕作者の協議



木村和彦 議員



間もなく工事が始まる中島池

の上対応していただく。
木村 被災された農家は、いつから作付けが出来るのか。

農林商工課長 被災の種類・場所あるいは作物の種類によって、一概に回答できないが、本年度の作付けは状況を理解の上、協力をお願いしたい。

災害ごみの仮置き場・分別の問題

木村 大規模災害発生後の災害ごみの仮置き

場・分別マニュアルが必要と考えるが。

環境防災課長 災害ごみの処理方針として、ごみの仮置き場の確保・分別の周知・処理方法・必要な人員および役割分担などを考慮した計画を作成する。災害ごみ対策は、重要課題として作成に取り組んでいく。

豪雨災害の復旧・復興状況は

早期復旧を念頭に

来年度末の完了を目標



河内直子 議員

国道沿いの歩道はフラットに

今後、十分検討させてもらう

歩道は誰のためにあるの

河内 やすらぎ荘入口信号の歩道は、結構な傾斜があり、非常に通行がしにくくなっている。フラットにすべきでは。

建設課長 なかなか難しい状況ではあるが、交差点改良事業により今以上にゆるい傾斜の構造となるように計画している。

住宅リフォーム助成制度の上限が10万円に



歩行者に優しい歩道を

河内 公平性を保つためにも、上限額を元の20万円に戻すべきでは。

都市計画課長 町内事業者の内需拡大も含めて潤った事業だが、一定の成果があったと思われるので、以前の制度には戻さず実施する。

町長 最重要課題は災害対策で、様々な事業を抑制せざるを得なかった。予算編成の中でも10万円だけの制度はキープしたいという思いで取り組んでいる。

委託先への検証は

河内 社協へ委託している生活支援コーディネーターの検証は。

福祉課長 活動報告は毎月、町に提出されているが、成果が出てくるには、ある程度時間が必要と考えている。

住宅新築等貸付事業の早期解決を

河内 未居住・滞納者に対して貸付契約書に沿った対応はされているのか。今後の見通しは。

人権・同和対策室長 債務者の記録には今までに違約金を請求したケースは見当たらない。自主的な返納を基本とし、必要に応じて、法的措置や強制執行も検討していきたい。

2019年6月定例会(予定)

- 開会 6月 7日(金) 10:00～
- 一般質問 6月11日(火) 10:00～
～13日(木) //
- 閉会 6月14日(金) 14:00～

※日程は確定次第、ホームページに掲載します。

【一般質問通告書の公開】

6月4日以降ホームページで公開の予定です。また、支所窓口や議会事務局で配布していますので、ぜひご覧ください。

3月議会 傍聴者の声

選挙後の初議会に多数(近年では最高)の傍聴者があってうれしく思いました。

議員さんは町民の代表者として、町の活性化のため政策論議を活発に行われることを強く願います。

町民が議会に関心を持つような対応と努力もお願いします。(T・Aさん)



傍聴席の前の仕切りが高く、議場(議員)全体が見えず、可視化した方がよい。議員の真剣な姿勢(一人一人)が分からない。議場内に議員向けカメラを設置したらどうか。(H・Hさん)

傍聴者数43人ありがとうございました。たくさんの方の傍聴をお待ちしています。



2018年9月 ラジコン草刈機を操作する町長

CHIKUZEN REPORT
第1回
ちくぜん
レポート

今号から、町の話や注目のものを町民のみなさんに『ちくぜんレポート』としてお伝えしていきます。

今回は31年度の注目事業、「筑前町草刈機等購入費補助金」について報告します。

議会では、地区が担っている河川の草刈り問題を近年取り上げてきました。どの地区も高齢化に伴い、人手や機械・運搬手段の確保が問題になっています。メンバーは70歳以上が大半で、90歳に近い方もおられ、数年で限界だと多くの声が出ており、議会でも対策や将来の展望を町に求めてきました。

町管理の河川の草刈りを全て町が実施するには、莫大な費用がかかってしまいます。しかし洪水等の水害防止・環境保全など、大変重要なことです。町においても草刈りについて県や国に要望・相談をしたり、調査研究をしてきました。

このたびの新規事業は、行政区が環境美化活動等のために草刈機等の機械を購入する際に町が補助金を交付するものです。財源はそつたく基金で、補助上限は200万円です。乗用草刈機や遠隔操作の草刈作業車などの購入ができるようになり、人手不足解消・負担軽減につながるものと期待されます。これで全てが解決できるという訳ではありませんので、これからも調査研究を町と議会で互いに続けていきたいと思います。

筑前町草刈機等購入費補助金

◆補助対象◆

- 町内行政区（区民の同意が必要）
- 20万円以上の機械で別途の機械要件に該当するもの
- 補助金の額は本体購入価格の2分の1まで、200万円を上限

※詳細は担当の建設課までお尋ねを



2018年12月 草刈機の実演

編集後記

卒業式・入学式が終わり、皆さんも新しくスタートされた方々が多いのではないのでしょうか。

広報委員会も新しいメンバーでスタートしたところですが、試行錯誤しながら、斬新な編集を考えました。今回の議会だよりは、いかがでしたでしょうか。皆さまの議会へのご意見等をお待ちしております。

今後とも広報委員会全委員で頑張りますので宜しくお願い致します。

山本 久矢



発行責任者 議長 田中 政浩
議会 広報特別委員会

委員長 山本 久矢
副委員長 河内 直子
委員 寺原 裕明
委員 柳 雅明
委員 石橋 里美
委員 木村 和彦